

支庁の風

東京都ホームページ: <http://www.metro.tokyo.jp>
八丈支庁ホームページ: <http://www.soumu.metro.tokyo.jp/09hatijou/index.htm>

平成16年7月1日<隔月>
支庁広報 第20号

発行所
東京都八丈支庁総務課
〒100-1492

八丈島八丈町大賀郷 2466-2

Tel:04996-2-1111 Fax:04996-2-3601

Mail:S0000048@section.metro.tokyo.jp

管内事業説明会を開催

八丈支庁では、16年度予算と主な事業について、5月13日に青ヶ島村老人福祉館、18日に八丈支庁会議室において、村と町の各団体や地域の代表者を対象にした説明会を開催しました。

本年3月に策定した『新エイト・ブルー構想』（詳細は3頁に掲載）など各課長から事業を説明した後、活発な質疑応答が行われました。

【主な事業】【総務課】

○救急患者搬送ヘリコプターの要請を、迅速かつ適切に行います。

【産業課】

○観光活性化を支援するプロジェ

平成16年度八丈支庁管内東京都事業予算

(単位:千円)

		16年度当初	15年度当初	増減率
八丈支庁	総務課	179,166	204,749	87.5%
	産業課	689,347	481,021	143.3%
	土木課	2,576,269	2,602,561	99.0%
	港湾課	3,713,600	5,726,000	64.9%
	小計	7,158,382	9,014,331	79.4%
島しょ保健所八丈出張所	14,416	13,950	103.3%	
教育庁八丈出張所	54,863	48,500	113.1%	
水産試験場八丈分場	70,313	64,828	108.5%	
園芸技術センター	4,470	5,079	88.0%	
小計	144,062	132,357	108.8%	
合計	7,302,444	9,146,688	79.8%	

クトを実施します。(6頁に掲載)

○神沢農道の整備や鴨川地区の水辺環境整備、鉄骨ハウスやロベ防風施設の整備を補助します。

○大根沖に大型漁礁を設置するほか、浮き漁礁の整備を補助します。

○今年度から青ヶ島池の沢地区の農道整備を補助します。

○青ヶ島大千代復旧治山工事を行います。

【土木課】

○都市計画道路第4期区間のうち、380mを構築します。

○役場通り(役場〜歴史資料館)のうち、250mを構築します。

○逢坂橋の舗装補修を行います。

○大賀郷園地のトイレや駐車場などの施設整備を行います。

○小骨ヶ洞砂防事業として、第1号ダムの工事に着工します。

○青ヶ島都道改修工事として、金土ヶ平の基礎杭工事と中原地区の概略設計を行うほか、青ヶ島港上の道路災害防除工事を行います。

【港湾課】

○八丈島空港の拡張工事がほぼ完了し、9月30日から滑走路を2,000mで使用開始します。

○青ヶ島港の防波堤等の建設と臨港道路の整備を行います。

【八丈町関係の主な質疑応答】

Q 南原のように、大潟浦園地など主要な観光スポットに、誰でも利用できるトイレを設置してほしい。

A (土木課長) 支庁で管理しているトイレの内、椅子対応となっているものは9箇所あり、昨年度、増設要望しましたが、予算化されませんでした。引き続き、要望していきます。なお、都では、宿泊施設のバリアフリー化の取組を支援するための助成を行っており、これまで八丈では3つの宿泊施設が本事業を活用しています。今後も、町と連携して、バリアフリー化を推進していきます。

Q 小中連携教育における、町の課題は何か。

A (教育副所長) 小中連携教育といっても、様々な形態があることから、町として、どんな小中連携教育を導入したいのか、最初にゴールを設定し、共通理解を図ることが第一の課題と考えます。教育課程や指導方法等に対しては、教育出張所が指導や助言を行うことができます。

Q 潮位が異常に高くなる現象が続く、岸壁のかさ上げが必要との声もある。これをどう認識しているか。

A (港湾課長) 昨年の台風15号の際に、神湊漁港で潮位が岸壁を1m程

参議院議員選挙には投票へ!!

参議院議員選挙は、7月11日(日)が投票日です。必ず投票に行きましょう。
『伝えよう 自分の意志を投票で!』

○選挙当日に投票できない方は、事前に期日前投票を行ってください。

○期日前投票は、八丈町役場と青ヶ島村役場において、7月10日(土)までの間、午前8時30分から午後8時まで受け付けております。詳しくは、町役場又は村役場にお問い合わせください。

度を超えたことについては、①台風による気圧の低下、②波浪の打ち込み、③黒潮の接近による海面上昇が原因とされていますが、特に、台風による波浪の打ち込みが大きな要因であったと考えています。なお、黒潮による影響は、海面の異常な降下も考えられ、岸壁のかさ上げだけでは適切な高さにならないことから、現段階では、考えていません。

Q 漁業振興にとって販路拡大は大きな課題だ。都では「島の漁獲物ブランド化」を進めると報道されているが、その具体的な内容はどうか。

A (産業課長) 都は「水産業振興プラン」を、本年4月に公表しました。本プランでは、「ブランド化の推進」や「IT活用による新たな販路開拓」など16の取組が示され、現在、施策化に向け検討しています。また、ブランド化には、「高品質化」、「安全性」、「生産量の確保」、「PR」などの様々な要素があり、町が支援した海水滅菌装置の整備などは、意義ある取組と考えます。今後、八丈町や漁協等と十分連携して、その取組を支援していきます。

Q 強風に耐える鉄骨ハウスの建設要望にどう応えるのか。また、農産物の流通改善に対する考えはどうか。

A (産業課長) 今年度も、坂上地域での鉄骨ハウスの整備を支援する計画です。17年度以降については、町の意向を踏まえて対応していきます。また、中之郷にオープンした農産物直売所は、地場流通の拠点として、新たな観光スポットとして、大きな期待が寄せられています。花き園芸産地としては、このほか、共選共販による市場流通体制の強化、ITによる新たな販路開拓などに取り組んでいくことが重要で、今後も町やJAと連携して支援します。

Q 自然にやさしい木酢液の大量採取を図り、害虫や病菌に対応すべきと考えるがどうか。

A (産業課長) 木酢液は、その原材料や製造方法から、品質や成分のばらつきが大きく、農薬効果が明らかにされていません。このため、家庭菜園などで自己の判断と責任で使用することはできませんが、農薬として販売、使用することはできません。今後、国で農薬効果が確認され、木酢液が農薬取締法の特定農薬として指定されれば、農薬として製造や使用が可能になります。農薬使用には、本誌(5月号)に折り込んだ「病害虫防除指針」をご活用ください。

Q 救急ヘリによる患者搬送の時間短

縮を。また、收容病院の選択を患者の自由にしてはどうか。

A (総務課長) 東京消防庁による搬送時間は、要請があつてから15年度平均で約5時間で、このうち3時間は東京のヘリポートと八丈島空港との往復時間、残りの2時間は都内での医師と患者の移送の時間で、大幅に短縮することはできません。また、搬送先の病院は都立広尾病院で、当病院は救命救急センターを開設し、24時間対応できる体制となっています。

Q ヤスデ対策費として、檜立自治会に300万円の助成金がもたらえないか。また、他県でのヤスデ対策の事例があれば教えてほしい。

A (産業課長) 支庁では、「ヤンバルトサカヤスデ」の防除対策で実績のある県から資料を取り寄せ、情報収集しています。こうした情報を踏まえ、町役場と支庁、保健所などで連絡会議を開催し、今後の対策や費用の捻出方法などについて、町と相談・検討をしていきます。また、沖縄県と鹿児島県では、複数の市町村でヤスデが蔓延しているため、総合的防除対策を実施しており、県では防除マニュアルを作成し、市町村が具体的な防除対策を実施しています。

〔青ヶ島村関係の主な質疑応答〕

Q 利用率を考え、青ヶ島と八丈島間のヘリコプターの料金を現在の3分の2にできないか。

A (総務課長) ヘリコピュターは、伊豆諸島の地域経済の活性化と島民の生活基盤の安定を図るため、東邦航空(株)が運航しています。運航に当たっては、東京都島しょ振興公社が支援を行い、さらに、収支差額を都が補助しています。平成15年の運行状況では、約2億9千万円の赤字を都が補助しており、値下げは難しい状況にあります。

Q 2年ごとに校長と両教頭が交互に異動していることを含め、青ヶ島に勤務する教員の異動基準を、都の要綱どおり3年にしてほしい。

A (教育副所長) 村教委から異動基準の見直しについて要望されており、これまでも機会を捉え、都教委に話をしています。引き続き要望し、少しでも長く青ヶ島に勤務してもらえぬ人材を見つけてもらえるよう努力します。また、青ヶ島が連携教育を重視して、9年間の教育を目指し頑張っていることを考えると、2人の教頭が同時に異動することは避けたいと考えており、校長と相談していきます。

支庁から提案します!!

「新エイト・ブルー構想」

★背景

平成14年7月に改正された離島振興法では、これまでの「国土の均衡ある発展」から「島の個性に着目した振興、つまり『価値ある地域差』の発揮による発展」へと大きくシフトしました。

また、新たな東京都離島振興計画では、島が生き抜いていくためには、あらゆる可能性を掘り起こし、総力を挙げて地域の活力につなげていく必要がある、伊豆諸島全体を「非日常的癒し空間」と位置づけ、島の自

立の実現を目指しています。

そこで、八丈支庁では、これまでのエイト・ブルー構想（平成7年12月）を見直し、新たに「価値ある地域差」をテーマに掲げ、本年3月に新構想を策定しました。新構想では、島を一つの博物館に見立てた「エコ・ミュージアム」というこれまでの考えの下、「八丈島らしさ」や「青ヶ島らしさ」を發揮した個性的で魅力的な島づくりを目指し、取り組んでいきます。

★新構想の特色

策定に当たっては、これまでの事業評価を行うとともに、「私の思う『価値ある地域差』について、管内の都職員から提案を求め、寄せられた

案や新構想に盛り込んだ提案の実現を目指し、島の観光活性化に取り組んでいきます。（具体的な取組を6頁に掲載）

★どんな提案があったの？

職員から寄せられた提案は、ユニークなものから実現困難と思われるものまで様々です。最も多く寄せられた観光振興に関する提案の中から、いくつか紹介します。

○『おじやいやれ民宿』で島を堪能しよう』と題し、島のおいしい食べ物や厚い人情を期待して来る観光客に伝えるよう、「民宿ならではの機能」に注目し、島の魅力をたっぷり味わってもらえるサービスを提供する。島の人とふれあ

い、島の話聞くことができる「個性ある宿づくり」を行うために、①観光協会が「おじやいやれ民宿」を募集・登録、各民宿の「売り」をPR、②3つ以上個性あるサービスの提供など「おじやいやれ民宿」の条件設定、③個性的な民宿情報を発信し、多くの選択肢から好きな宿を選択してもらう。

213の提案の中から、今後、具体化すべき施策を新構想に盛り込みました。新構想は、島固有の『価値ある地域差』を發揮し、それを上手に活用して島を活性化していくための、支庁からの提案でもあります。

★支庁観光活性化プロジェクトの実施

本誌5月号に掲載しました『支庁観光活性化プロジェクト』では、職員から寄せられた提案のうち、すぐに実行できる提

○『サーフィン・イン・ザ・汐間』と題し、サーフィンスポット「汐間海岸」を売り込んで、新たな客層を島に呼び込む。具体的には、現在開催している大会の充実や島民へサーフィンの理解浸透を図

る。ハワイでは、消防士が観光客にサーフィン講習をさせており、有志で講習会を開催するなど、サーフィンをも島のスポーツにする。

○『牛とオオタニワタリ』と題し、黒毛和牛とオオタニワタリで青ヶ島をPR。青ヶ島の牛肉を食べる機会や商品すら見たことがない。そこで、①牛とオオタニワタリを島のシンボルとしてイメージ化、②「青ヶ島の黒毛和牛」の商品化と民宿での提供、③オオタニワタリ園の整備や切葉の安定供給などにより、神秘的な青ヶ島をアピール。

○『ひょうたん島海賊船』就航計画』と題し、「ひょうたん島」を海を覗き船を就航させる。「海」を売り物にしていく一方で、島には一

隻の「遊覧船」もない。「島」を海から眺めて見るのも面白く、運が良ければトビウオの飛び姿やカメラ泳ぐ姿も見られる。企画物によるひょうたん島イメージ戦略。

ちょっと一息

支庁長ら職員が、汗を流して農業体験。

る葉村葉の観ため、の職員グ、耐マます。説明センター、原料の製品。のた職員、のシダ。のた職員、の地口を念に職員と、地区の力を余ら、村、では、入れ、職員と、で、口を念に職員と、地口を念に職員と、



青ヶ島の農業体験。支庁長ら職員が、汗を流して農業体験。青ヶ島の農業体験。支庁長ら職員が、汗を流して農業体験。

島の魅力をPR

「島じまん2004」開催
過去最高の人出で大盛況

2年に1度の東京愛らんどフェア「島じまん2004」が、5月29日と30日の2日間、竹芝ふ頭公園で開催されました。

このイベントは、東京ブランド宣言！『島々は東京の一島地』のキャッチフレーズのもと、伊豆・小笠原諸島の観光資源や特産品などの魅力を広く紹介しようとするものです。

八丈町長や青ヶ島村長を始め、各島の町村長が列席してのオープニングで幕を開け、両日とも島の夏を思わせるような陽光となり、来場者数は過去最高の9万8千人（前回より1万3千人増）を記録しました。



多くの人で賑わう八丈島コーナー

八丈島コーナーでは、アシタバの生葉や加工品、クサヤ、観葉植物などが、青ヶ島コーナーでは、黒毛和牛肉やひんぎやの塩、島だれ、ウコンなどが販売されました。

初日には、ソムリエの田崎真也さんが八丈島と青ヶ島のコーナーを訪れ、島ならではの食材について、熱心に質問をされていました。



青ヶ島コーナーで熱心に説明を聞く田崎真也さん（右）

島の味覚として、八丈島から島寿司が、青ヶ島からはクジラヨ（テンジクイサキ）の塩焼きやアカバのみそ汁が販売されました。いずれも大人気で、お昼過ぎには、完売となりました。

ステージでは、八丈太鼓や還住太鼓が披露され、来場者も参加しての島踊りが行われました。

島の魅力を多くの人に味わっていただいた2日間でした。

子どもたちの農業体験がスタート

八丈町が田園空間整備事業で進めてきた「集落農園」が三根矢崎に完成し、5月26日に、三根小学校の5年生約40名が田植えに挑戦しました。田植えは、農業体験を通じて、農業や食料への理解を深め、八丈島の農業の歴史を知ってもらおうと、総合的な学習の時間を活用して行われました。

田植えは、八丈島ふるさと塾代表の大澤幸一さんが指導に当たり、最初に、みんなで田んぼに入り、どろんこ遊びをした後、クラスごとに横一列に並んで、もち米の苗を植えていきました。初めての体験に、子どもたちの歓声が響き、終始楽しそうに植えていました。



楽しそうに苗を植える泥だらけの児童たち



横一列になって田植えをする住民の皆さん

また、6月12日には、運営委員会の主催で開催式が行われ、三根加茂川会の「田植え踊り」や奥山熊雄さんの八丈太鼓が披露されました。その後、全島から応募のあった子どもたちや住民の皆さん約70人が田植えを行いました。苗は、「もち米」、「うるち米」、「黒米」、「赤米」の4種類で、園芸技術センターが種もみを提供し、運営委員会が苗づくりを行いました。

これから苗が成長し、虫が来たり、雑草が生えたりして、田んぼがどンドン変わっていきます。みんなでの田んぼを育て、観察し、秋には、たわわな稲穂が実ることを期待しましょう。

新たに誕生した田園風景を、是非見に来てください。

誕生！ こん沢林道のほっとスポット

末吉地区のこん沢林道は、森林の中をドライブして、気軽に「ポットホール」へ行ける道で、正式には「森林管理道「こん沢線」といって、林業や木材生産業に利用する道です。こん沢林道沿いには、スギの人工林が広がっています。

その一部は「都行道林地」といって、昭和34年の皇太子殿下と美智子妃殿下（現天皇・皇后両陛下）のご成婚の記念と、昭和39年の東京オリンピック開催記念として、東京都と土地所有者（八丈町）が契約して、植林して育ててきた林です。

スギ花粉症など、近頃なにかと風当たりの強い「スギ」の「人工林」ですが、昭和50年の



台風13号にも耐えて、約40年も生きてきたのです。また、足場の悪い急な斜面で、苗を一本ずつ手作業で植えて、草刈り作業などに従事された方々の苦労は、想像に難しくありません。

◆せっかく育ったスギ林だから・・・産業課林務係では、さらに豊かな森林にしようと考えました。

まず、平成15年1月に、地元の方をお願いして間伐という作業をしてもらいました。間伐とは、生長の良くない木など一部の木を伐採して、残った木の生長を促し、健全な森林に導く作業のことです。間伐して、林の中まで日光が差し込むことによって、根が張り、下草も生え、土砂流出の防止にもなるとされています。このとき伐採された木を、「間伐材」と呼んでいます。

次に、間伐材をワイヤーロープで引っ張って、林の中から出し、トラックで運搬した後、製材してもらいました。本誌1月号で紹介した『八丈島育ちのスギのベンチ』は、このとき加工した木の端でつくったものです。

◆間伐材はどうなったの？

加工してもらった主な木材は、天日で約7ヶ月乾燥させた後、育ちの地に戻り、休憩小屋になりました。五角形のログハウス風の小屋は、登龍峠側の入り口（都道地点標No.33近く）から入って、約2kmのこん沢林道脇にあります。

◆お金はいくらかったの？

①スギ林の間伐、②間伐材の搬出、③加工、④小屋の建設という一連の作業に、直接的な経費だけで①75万円、②

45万円、③75万円、④135万円、合計330万円の費用がかかりました。

この金額が高いか安いかわ、ご意見が分かれるかもしれませんが、私たちが、豊かな森林を保全し、育てていくために、また、環境資源を有効に利用するために必要と考えます。

◆きてみてポットホール

きてみて休憩小屋

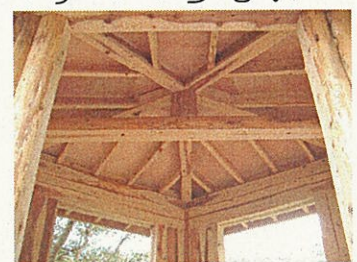
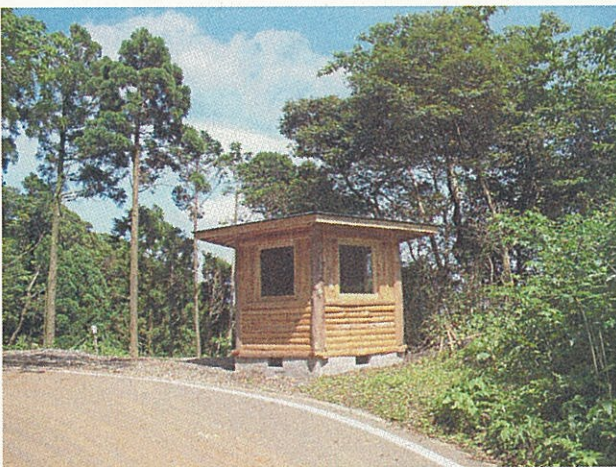
八丈島育ちのスギが、ほっと一息つける休憩施設に生まれ変わって皆さんを待っています。林内をドライブや散策した際に、森の恵みと、温かい木のぬくもりを感じてください。

なお、「森林管理道」は、ゆっくり走りましょう（時速20kmまでのスピードを想定してつくっています）。幅員が狭いところや路肩が弱いところ、見通しが悪いところもありますのでご注意ください。

「ポットホール」までは、登龍峠側から舗装された道を通って行くことができますが、さらに奥の道は未舗装で、現在工事のため（8月中旬まで）、通り抜けが難しくなっています。

皆さんのご意見やご感想をお待ちしています。

◆産業課林務係 TEL 211-113



休憩小屋の内装

観光活性化プロジェクトその①

「職員誰もが広報マン」

このコーナーでは、本誌5月号に掲載しました観光活性化プロジェクトの具体的な事業内容について、シリーズで紹介します。

今回は、総務課で行う『職員誰もが広報マン』です。この事業は、すべての職員が、自ら名刺などのカード等を作成して、様々な機会を捉えて、仕事上の関係者や知人、友人などに配付し、八丈島と青ヶ島をできるだけ多くの人にPRし、島に来てもらうことが目的です。

具体的には、職員各自が所有している両島の画像等をデジタルデータとして一本化し、誰もが利用できるようにします。そして、各自がその中から好みの画像やサインを使って、オリジナルティ豊かなカードをつくりまします。さらに、年賀状や封筒などにも印刷し、これらを活用して「八丈島や青ヶ島に行ってみよう」と思う人を増やしていこうというものです。

私たち、八丈支庁管内に勤務する都職員の一人ひとりが『職員誰もが広報マン』を実践し、島を訪れる人が少しでも増えるよう努力します。

「教頭」から「副校長」へ

4月1日からすべての都立高校で、「教頭」の名称が「副校長」に変わりました。「教頭」と「副校長」では、何が違うのでしょうか。

実は「教頭」の権限が広がったのです。例えば、体育祭などの行事を計画する際に、「副校長」の判断で決定することができるようになりました。

「副校長」という呼び方に慣れるまで少し時間がかかりそうですが、現在、島を含め都内すべての公立小・中学校でも「副校長」が誕生するように準備が進められています。教育庁出張所 Ⅱ二一〇七四二

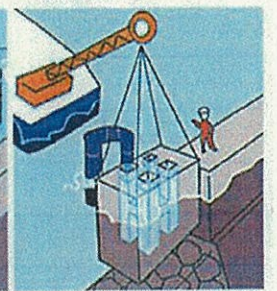
防波堤をつくるのこうを見てください

○ケーソンができるまで

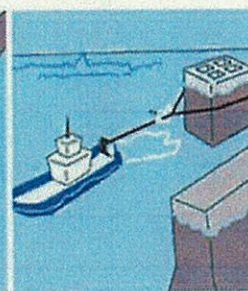
ケーソンとは、鉄筋コンクリートの大きな箱で、東京湾に浮かんだフロートインゴドックと呼ばれる工場で作られます。これを海に並べて防波堤をつくりまします。神湊漁港に設置するケーソンの大きさは、幅が30×33m、深さが15m、重さが約8,000トンもあります。

ケーソンの中は空洞で、重くても海に浮くようにつくられています。図の③のように、東京から島まで運ばれてきます。また、ケーソン内は、いくつもの仕切が設けられていて、島まで運ぶ間に、外の壁が壊れても、海に沈まないようにつくられています。

④本土工 (ポンプでケーソンに水を入れながら正しい位置に据えます)



③本土工 (ケーソンを船で土台の上まで運ぶ)



②基礎工 (ケーソンを載せる土台を整えます)



①基礎工 (基礎となる石を投入します)



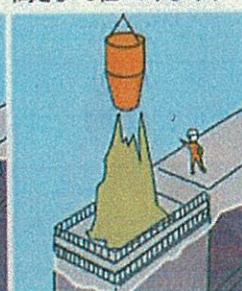
⑧防波堤の完成



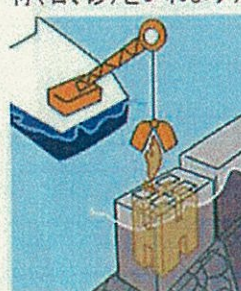
⑦消波工 (必要な場合、波消し用のブロックを据え付けまします)



⑥上部工 (波に耐えるための重量を確保するため、必要な高さまで仕上げまします)



⑤本土工 (ケーソンが波で動かないようにするため、中詰材(石、砂)をいれまします)



○防波堤ができるまで

図は、一般的につくられる防波堤の作業工程です。

今年度は、八重根漁港・神湊漁港・洞輪沢漁港でケーソンの据付けを予定しております。

時期は、比較的、波の穏やかな6月から7月に実施まします。

図の④から⑦までの本土工については、見学を希望される方は、ご連絡ください。日程を調整し、現地で説明まします。

港湾課工事係Ⅱ二一一一五

(国土交通省ホームページより)

土木課からのお願い

○ごみの持ち帰りを!

近年、カラスにより、ごみ箱が荒らされる被害が多く寄せられるようになってきました。また、島の強い風で、ごみ箱のごみが散乱すること、ごみ箱が少なくなっています。

このため、南原園地や大潟浦園地等に設置していたごみ箱を撤去しました。園地を利用される方は、ごみの持ち帰りにご協力ください。

○犬の散歩はマナーを守ってね

自然の中で犬と散歩することは、とっても気持ちがいいものです。公園内でも犬と散歩している方をたくさん見かけます。

ところが、「芝生に座ったら犬の糞があった!」と不快な思いをしている人もいます。糞は、必ず飼い主が始末するようお願いいたします。

また、公園内では事故防止のため、犬に手綱をつけて散歩してください。

○大賀郷園地オーファンに向けて、

皆様の協力を

大賀郷園地は、今年度、トイレや休憩舎、駐車場を整備し、17年4月に開放を予定しています。

先日、心無い人により、同園地の多目的広場に車が乗り入れられ、

芝生が剥がされました。車の乗り入れは禁止です。芝生がすっかり根づくまで、そつと見守ってください。(その後も、車の乗り入れはダメです。)

みんなが気持ち良く公園を利用できるように、ご協力をお願いいたします!

土木課工事第二係 電話二一〇七四二

今年も東京の子どもたちが来ます

アドベンチャースクール

in 八丈島

「心の東京革命」に基づき、平成13年から始まった『アドベンチャースクール事業』も、今年で4回目になり、昨年に引き続き、八丈島で実施されます。

東京の子ども達や青年が、八丈島の自然の中で野外活動を通じて人間関係や社会のルールを学ぶとともに、『八丈島』のすばらしさを知ってもらい、楽しい思い出を持ち帰ってもらえるよう、準備を進めています。

日程 7月25日(日)～31日(土)
活動中、どこかで子どもたちを見かけたら、励ましの声を掛けてください!
教育庁出張所 TEL二一〇七四二

こんにちは、八高です!

★図書館を開放しています

八高図書館を一般開放しています。どうぞご利用ください。

○開放日: 7月と8月の日曜日

○時間: 午後1時30分～4時30分

★進化中! 23名の定時制

昨年度から4名の生徒が増えました。皆さんには、生徒募集のポスター掲示や学校評価アンケートなどにご協力をいただき、ありがとうございました。今年度は、希望生徒を対象に簿記の学習を始めました。引き続き、希望生徒が3年間で卒業しやすくなるよう、通信制との連携を強化していきます。

★女子バレー部が大健闘!

4月16日から、春季リーグ戦が始まり、3勝2敗のリーグ3位で、大会II部へ進出しました。II部リーグでは3勝1敗と大健闘し、ベスト16に入りました。ヤッター!!

★公開講座「ソフト

テニス教室」の参加者募集

○定員: 20名

○日時: 9月5日(日)、20日(月)



祝)、10月11日(月・祝)、24日(日)の4日間の午後1時から2、3時間
○申込切: 7月10日(土)必着
○申込先: 〒100-1401 大賀郷3020 都立八丈高校公開講座係
○申込方法: 往復はがきに氏名、ふりがな、性別、年齢、住所、電話番号、希望講座名を明記の上、お申し込みください。※申込多数の場合は抽選
★全日制の進路指導(就職)について
9月16日以降の統一選考を目指し、就職希望の生徒は、7月27日から29日まで、都内の会社を見学します。また、8月4日から6日まで、教員が会社を实际に訪問し、調査します。
★施設開放時の照明料の徴収について(詳細は本誌5月号に掲載)

本年4月から、施設利用に伴う照明など電気料相当分を徴収することになりました。ご理解とご協力をお願いします。

★都立学校における禁煙について

喫煙防止教育の推進のため、4月から建物内は全面禁煙となりました。また、今年度末までには、敷

地内が全面禁煙となります。

★八丈高校 電話二一〇七四二

(全日制: 小野寺、定時制: 星野)

青少年の健全育成にご協力を

次代の社会をになうべき青少年が、社会の一員として認められ、良い環境の中で健やかに成長することは、誰もが願うことです。

そして、家庭や勤労の場所など社会における正しい指導が、青少年の人格形成に大きく影響します。

青少年の環境の整備を助長し、青少年の福祉を阻害する恐れのある行為を防止するための「東京都青少年健全育成条例」は、不健全な図書やビデオの販売等について制限しています。

八丈支庁では、島内の書店やレンタルビデオ店を訪ね、都が指定した不健全な図書やビデオが販売・レンタルされていないかを实地に調査しています。さらに、これらに類似する図書類の販売方法についても、店舗のレジなどから容易に監視できる場所に展示するようお願いしています。

これまで、島内における書店やビデオ店において、制限に該当する図書やビデオが販売されたことはありませんが、書店やビデオ店を経営する方には、引き続き、ご協力をお願いいたします。

総務課福祉係 TEL二一一一一

八丈小島について のお願い

夏が到来し、釣りやダイビングなどで八丈小島を訪れる方も多くなります。

小島に渡る皆さんは、次のことを守ってください。

- 一 小島での宿泊は、禁止していただきます。事故など緊急事態の場合に、すぐに対応できないからです。
 - 二 小島の野ヤギは、許可を受けなければ捕獲することができません。
 - 三 建物や記念碑などの工作物は、許可を受けないと設置することができません。
- ルールを守って、夏の八丈小島を楽しく過ごしてください。

総務課行政係 TEL二一一一一



個人事業税について

8月は個人事業税の第1期の納期です。

今回は、個人事業税の

業種についてお話しします。

個人事業税は、地方税法等で定める71業種（法定業種）について、そ



「海の日」は

八重根漁港へ行こう!!

「海の記念日」は、明治天皇が明治9年に東北へ巡幸の帰途、灯台視察船「明治丸」で、青森から函館を経て、横浜に到着された日に由来しています。

その後、海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日として、平成8年から「7月20日」が国民の祝日「海の日」となりました。平成15年からは、7月の第3月曜日となり、土曜・日曜に続く「3連休」とされ、今年は7月19日が「海の日」です。

「海の日」には、全国で様々なイベントが開催され、ここ八丈島でも漁協が中心となって、楽しいイベントが開催される予定です。

○場所：八重根漁港内
○日時：7月19日（月・祝）
午前9時～午後1時

皆さん、「海の日」には、八重根漁港でイベントを盛り上げましょう。

産業課水産係 TEL二一一一三

の事業を行う個人に課税されます。では、どんな業種が課税されるのでしょうか？

■第1種事業（税率5%）

営利を事業の目的とする業種です。人的又は物的設備を備えていることを要件とし、これにより継続かつ反復して同種の行為を行う事業で、物品販売業、金銭、物品及び不動産など貸付業、運送業、請負業、製造業、旅館業、飲食店業、遊技場業、案内業など37業種です。

■第2種事業（税率4%）

第一次産業の農林水産業等に属するもので、畜産業、水産業、薪炭製造業の3業種です。

■第3種事業（税率5%又は3%）

特殊な知識や技術、経験を必要とする専門的サービスの提供を事業内容とする業種です。自由業と環境衛生業で、個人的な資格を要する業種が主なものです。

医業、歯科医業、薬剤師、税理士業、理容業、クリーニング業など31業種です。

このように、業種等の判定が課税の可否を左右します。税務係では、確定申告書の業種欄で判断するだけでなく、不明確なものは、現地調査など事業実態の把握を行い、適正な課税に努めています。

総務課税務係 TEL二一一一一